

# 新左翼

## 記事紹介

二〇二面  
MR誌の批判に答える  
— レジス・ドナルド、張中からの手紙  
ほくも紅衛兵だった  
(3) — アメリカ  
少年の体験談

四〇面  
連日局内デモで抗議  
— 大阪中部、自動  
機取壊し進行に怒  
り爆発  
— 全電通大阪、職  
場準備すむ

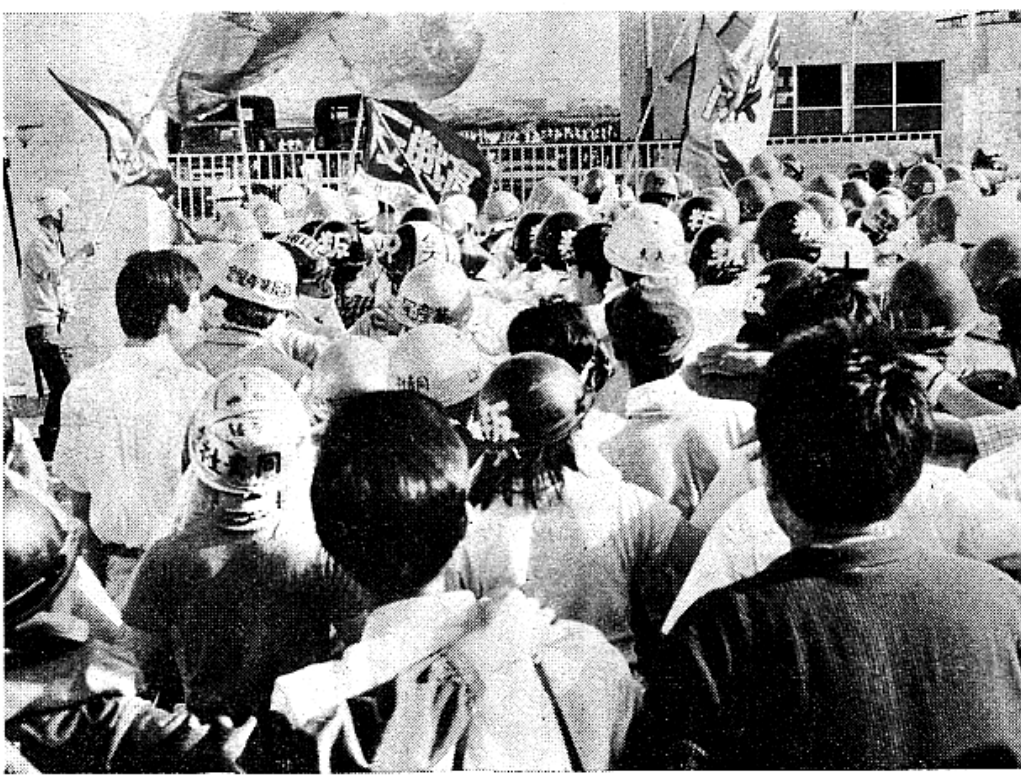
# 七〇年スト決議勝取る

## 反戦委、公然と登場

### 全電通 右傾化に歯止め 全国大会

#### 大会の論争点

八日から京都市でひらかれた全電通第二十二回大会では、七〇年闘争に関する執行部提案が、反戦青年委員会を中心とする若手組合員の激しい批判によって修正され、ストライキで闘争を決定したが、今大会では役員選挙がなかったために、全連大会における選挙体制の動向のような事件は起こらなかったものの、反戦を承認しているのは全電通中央が反戦ペーシを承認し、反戦の行動に対して拒絶反応を起すたけでならぬ対応もなし、反戦の前進と公社の分業工作、日共と労連とのプロック化のなかで、長らく全電通を支配してきた民間官僚の凋落を、きりと示すものであった。この激しい情勢なかで反戦は七〇年闘争へ決起のための準備を着々と進んでいる。つきは、この大会の開催と今後の任務、この大会期間とそれ以後の職場での何がおこったかを明らかにした全電通の活動家の戦況と手記(三面に掲載)である。



八尾空港自衛隊駐屯地入口で抗議集会をひらくデモ隊

安部に主体的力量から判断して、政治ストをすすめる条件にない、安部陣営は単に政治ストだけが手段ではない、と報道した。総評・公労協をつうじて政治ストをしないと言明したのは全電通だけだった。これに対する組合員の憤りは全国にまきおこった。

#### 醜態みせた民間

これを最も戦術的に示したのが、大会第一日目反戦のデモと、それに対する民間の対応だった。大会は民間の対応が、民間側では山田陣営の闘争のとき支那側でいって逮捕されたものについては組合の機軸者扶助が適用されたが、それ以外でいって逮捕されたものは、適用されなかった。この問題は起っている。これをめぐって、職場組織と地本の対立がおこっている。近畿では京都の山科で反戦と地本の対立があり、大阪では茨木、大阪中電、高槻で活動家の処分に対して、組合が闘わないという問題が起

#### とどかめ職場の声

反戦青年委員会については、二年間全国青年委員制度ができてきた反戦強化という方針ができてきた、とくにんできた。今年には全国的に非常な差がある。東京地本で全国の反戦に結果している仲間が連絡をとり、大会が開かれない前日、電通全国反戦決起集会を組合からこまれて身動きがとれない。北は北海道から南は鹿児島まで、約三百名がこの集会に結集した。反戦の運動の水準は、とくにんできた。今年には全国的に非常な差がある。東京地本で全国の反戦に結果している仲間が連絡をとり、大会が開かれない前日、電通全国反戦決起集会を組合からこまれて身動きがとれない。

#### 醜態みせた民間

これを最も戦術的に示したのが、大会第一日目反戦のデモと、それに対する民間の対応だった。大会は民間の対応が、民間側では山田陣営の闘争のとき支那側でいって逮捕されたものについては組合の機軸者扶助が適用されたが、それ以外でいって逮捕されたものは、適用されなかった。この問題は起っている。これをめぐって、職場組織と地本の対立がおこっている。近畿では京都の山科で反戦と地本の対立があり、大阪では茨木、大阪中電、高槻で活動家の処分に対して、組合が闘わないという問題が起

#### 八尾空港へデモ

##### 自衛隊基地撤去呼かけ

十三日午後から労働者、学生三百名あまりは、国鉄八尾駅前へ八尾空港自衛隊基地撤去決起集会を開き、八尾空港自衛隊駐屯地、防衛庁はこゝにヘリコプター基地を作ろうとしている。地域の反戦では、撤去を求めるモは、東大阪、大東、河内、堺などの各地区反戦、ベ平連、近大、大商大、電通大などの全共闘が結

#### 醜態みせた民間

##### 近畿に第二組合

山形県の米沢では、公社がデッチ上げた、暴行事件を口実にして逮捕がついていて、全電通という組合は官僚制のゆきとどいた組合として、その組織性を誇ってきた。官公労のなかでは、全連と並んで最も安定した組合といわれてきた。全連で党体制が大きいだけに、全電通もこの大会で確立された企業経営制度にもとづく民間支配が、このような反戦派の登場によって、われわれもなされた。全電通は組織上は非常に強固で、い、ついに統制がかけられているがその内実は空虚で建て前としての運動しかない。四・一七スト破りによって、日共が組合から排除されて以来、民間と公社との着が深まっていた。そのなかから七〇年安保はストをしないという方針がたされた結果、幹部と組合員との亀裂が非常に深まった。

アメリカの独立社会主義者ポール・M・スウィーが編集している、



ボリビアのジャングルにおけるチェ・ゲバラと戦友たち

以下は十二月末ニューヨークのマンズリー・レビュー社に...

九月カミローリにて 親愛なるヒューバートマンならび...

以下は十二月末ニューヨークのマンズリー・レビュー社に...

MR誌の批判に答える

ある革命陣営において過激なことはないにせよ、キ...

世界史の皮肉

私がある小書の筆を執ったところから引出すべき...

事実を述べたために、申し上げたい 活そのものがこの問題の解決にか...

一つの誤解

あなた方が私に向けておられる 批判の方向を誤りまして、あれ...

典型の概念

「革命の中の革命」の意図す るところは、ラテン・アメリカに...

「三面よりつづく」 出し、しかもそれが益々形骸化... 排撃されてしまいます。しかし私... 排撃されてしまいます。しかし私... 排撃されてしまいます。しかし私...

形骸化の危険

筆が本論からそれかかっていると... 筆が本論からそれかかっていると... 筆が本論からそれかかっていると... 筆が本論からそれかかっていると...

チェの批評

「批判の細かい点も拙著の一字... 「批判の細かい点も拙著の一字... 「批判の細かい点も拙著の一字... 「批判の細かい点も拙著の一字...

ぼくも紅衛兵だった

文化大革命 アメリカ少年の体験談 (3)



壁新聞が一杯はられた病院の入口、名前も改められた。

大衆運動

「君自身は遠征したことがありますか... 「君自身は遠征したことがありますか... 「君自身は遠征したことがありますか... 「君自身は遠征したことがありますか...

外国との対比

「中国のこの青少年運動と海外のそれとの... 「中国のこの青少年運動と海外のそれとの... 「中国のこの青少年運動と海外のそれとの... 「中国のこの青少年運動と海外のそれとの...

学生と労働者

「学生と労働者の関係はどうでした... 「学生と労働者の関係はどうでした... 「学生と労働者の関係はどうでした... 「学生と労働者の関係はどうでした...

大阪中郵

連日局内デモで抗議

自動機搬入強行に怒り爆発

四日未明、郵政当局は自動機搬入を強行し、全通組合員と抗争を挑んだ。...

午前四時には四百名の組合員と、者のいかりはますます、連日、入を強行してきた。...

職場からの通信

七月四日、大阪中央電報局は、大衆行動、ストライキを進行したという名目、反ライキを問はず一貫して行なわれ...

スト決議の貫徹を

全電通 職場で準備すすむ

七月八日から開催された全電通の大会を、無内容なまま貫徹させるべく、...

投書

六月二〇日午後八時ごろ、よ始められた。三島から出たバスが御殿場駅前に着いた。...

北富士闘争に参加して

東京 杉村 忠雄
七月一日に於ける無期宣言大会は、その長閑さの二つで、...

「新左翼」 発展にご協力を!

読者のみなさん、
「新左翼」はみなさんの支持と援助により発展してきました。...

新左翼 協力委員会
新左翼 社
投稿、紙代納入と資金カンパにご協力下さいませ、